

平成22年度事業計画

環境認識と重点課題

わが国は、少子高齢化・人口減少、財政悪化、アジア諸国の成長とグローバル競争の拡大といった時代の流れが押し寄せる中で、必ずしも明確な展望を見出せていない。足下の景気も、一部に持ち直しの動きが見られるものの、先行きへの懸念は払拭されていない。また、公共事業の大幅な削減など、四国に厳しい影響をもたらす政策も進められている。

今こそ四国は、大きく変化する時代をどう生き抜いてゆくか、地域を挙げて考え、取り組み、新たな成長への道を果敢に切り拓いてゆかねばならない。

こうした認識のもと、四経連の今年度の重点課題を次のとおりとする。

1. 特性や強みを生かした産業活性化、観光振興など、四国が持続的に発展してゆくための成長戦略の具体化に積極的に取り組んでゆく。
2. 政権交代に伴う政策変更のうち、社会基盤整備や地方分権など、四国への影響の大きいものについては、地域を挙げて議論を進め、四国の考えを国に強く主張してゆく。

こうした課題に取り組むため、4県との連携、産学官連携を進め、四国が一つになった活動に精力的に取り組む。

重 点 事 業

1. 四国の新たな成長を切り拓く産業活性化策の推進

四国には、特定の分野で日本一・世界一のシェアを持つ企業が数多く見られるように、優れた技術力やイノベーションの力がある。また、各大学からは先進的な研究開発成果が生まれており、一次産業はじめ食に関する産業も集積している。こうした四国の強みを生かした成長戦略を推進し、競争力のある産業、企業を増やしてゆく必要がある。

そのため、産学官連携による新産業創出の支援、農商工連携による一次産業・食産業の高付加価値化、成長するアジアとの経済交流の推進、四国に立地する産業の競争力強化のための基盤整備、国際物流戦略の推進等に取り組む。

2. テレビドラマ放映等のチャンスを生かした持続的観光振興への取り組み

四国ゆかりのテレビドラマ放映等により、今年度は四国に多くの観光客が訪れると期待されるが、このチャンスを生かすには、一過性の効果ではなく、持続的な観光振興につなげてゆくことが重要である。

そのため、昨年4県と経済界で設立した「四国ツーリズム創造機構」への提言や活動支援をはじめ、おもてなしの心の醸成、歴史文化道事業や語り部との連携などに取り組む。また、4県等と連携し、四国霊場八十八箇所の世界遺産化に向けた活動など、遍路文化を生かした地域づくりに取り組む。

3. 8の字ネットワークなど四国の発展に欠かせない社会基盤整備の推進

「コンクリートから人へ」という新政権の方針のもと、公共事業の削減、凍結がなされているが、四国の自立的発展と安心・安全な地域づくりのために不可欠な社会基盤は確実に整備してゆかねばならない。

このため、4県と連携し、高速道路「四国8の字ネットワーク」をはじめ四国にとって必要なインフラの整備促進に向けて活動を進める。

4. 四国の公共交通機関のあり方の検討

高速道路の無料化実験をはじめ新たな料金施策により、四国では、JRやフェリーなど、公共交通機関への深刻な影響が危惧されている。

このため、鉄道ネットワークなど四国にとって望ましい交通体系のあり方について、4県はじめ地域を挙げた議論検討を進め、必要な政策要望に繋げる。

5. 道州制・四国州の実現に向けた議論喚起

新政権は中央集権から地域主権国家への転換を掲げているが、道州制のような新しい国の形についての考え方は示されていない。しかし、東京一極集中を是正し活力ある地方を創造するための究極の姿として、道州制が極めて重要な選択肢であることに変わりはない。

そのため、新政権の動きを注視しつつ、平成21年3月の四経連提言「四国から見た道州制についての基本的考え方」をもとに、シンポジウムの開催などを通じて、引き続き地域での議論喚起を図ってゆく。

6. 少子化対策の検討

わが国は人口減少時代に入り、四国の人口も今後30年間で、ほぼ4分の1に当たる94万人が減少し、このうち生産年齢人口（15～64歳）が85万人減少すると予測されている。わが国の持続的発展のためには、国を挙げて出生率の回復に急いで取り組まなければならない。

そのため、子供を産み育てやすい環境の整備等に向けて、国や自治体、企業、地域社会が為すべき役割等について調査検討し、提言、啓蒙活動に繋げる。

事業活動

下線部は新規項目

1. 産業活性化

(1) 地域特性を生かした新産業創出、産業競争力強化の取り組み

- ・ 四国に立地する企業の競争力強化に向けた産業基盤整備等に関する調査・提言
- ・ 新産業創出、産業高度化等に向けた産学官連携の推進
- ・ 農商工連携等による一次産業の振興、食産業の高付加価値化

(2) 次代を担う人材育成の支援

- ・ 四国の人材育成・定着に向けた大学等との連携
- ・ 学生に起業アイデアを募る「キャンパスベンチャーグランプリ四国」の開催
- ・ 青少年を対象とした科学体験イベントへの参加・支援

2. アジアとの経済交流の促進

- ・ アジアへの「四国の食」輸出促進に向けた取り組み
- ・ 四国とアジアとを直接結ぶ国際物流機能の強化検討
- ・ 海外からの観光客誘致に向けた取り組み・支援

3. 地球環境・資源問題

- ・ 国の地球温暖化対策への対応・意見
- ・ エネルギー・資源問題に関する調査検討
- ・ 林業の再生、バイオ資源の活用等に向けた取り組み・支援

4. 観光振興

- ・ 四国ゆかりのテレビドラマ放映を生かした各地域の取り組み支援
- ・ 四国遍路文化を生かした地域づくりの推進
 - ・ 「四国八十八箇所霊場と遍路道」の世界遺産登録の推進
 - ・ 安全な遍路道の整備、望ましい道案内表示、遍路道周辺の景観形成に向けた取り組み
- ・ 歴史文化道事業の推進
 - ・ NHKドラマ「龍馬伝」、「坂の上の雲」と連携した歴史文化道のPR強化、四国各地の語り部との連携強化
- ・ 四国ツーリズム創造機構（平成21年7月設立）への提言・活動支援
- ・ 四国の企業の産業観光資源のPR
- ・ 四国・九州アイランドリーグなど地域スポーツの支援
- ・ 団塊世代を中心とした大都市圏からのロングステイ客誘致の支援
- ・ 観光振興をテーマにした「新四国創造フォーラム」の開催

5. 道州制・四国州の実現

- ・ 四経連提言（平成21年3月）を踏まえた国等への意見・提案
- ・ 地域での議論喚起のための道州制シンポジウムの開催

6. 社会基盤整備

- ・ 四国における鉄道ネットワークのあり方の検討・提言
- ・ 明日の地域づくりを考える四国会議（四経連をはじめ四国の4経済団体で構成）による提言・要望
- ・ 四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会（代表：四経連会長および4県知事）による提言・要望
- ・ 四国フリーゲージトレイン導入期成会による要望
- ・ 太平洋新国土軸構想推進協議会、紀淡海峡交流会議、豊予海峡ルート推進協議会による要望

[重点的に整備促進を図るべき社会基盤]

①高速道路など基幹道路

- ・ 高速道路「四国8の字ネットワーク」の早期完成
- ・ 今治小松自動車道の未開通部分の完成
- ・ 地域高規格道路の整備
- ・ 渋滞を解消するバイパス等、重要性の高い一般国道、地方道の整備

②本四連絡橋

- ・一般高速道路と統一した料金制度の実施など通行料金の恒久的引き下げ

③鉄道

- ・フリーゲージトレインの四国への導入
- ・在来線の高速化

④国際交流・物流基盤

- ・多目的国際ターミナルなど国際物流インフラおよび港湾へのアクセス道路の整備
- ・国際定期航空路線および国内航空路線の拡充

⑤高度情報通信基盤

- ・ブロードバンド環境の整備
- ・高度情報通信機能の利活用の推進

⑥太平洋新国土軸構想

⑦安全、安心な地域づくりのための基盤

- ・地震防災対策、安定した水供給の確保など、自然災害に強い地域づくり
- ・高齢化時代に対応した生活環境の整備

⑧人を惹きつける魅力ある都市環境

- ・4県都など主要都市の機能強化
- ・魅力ある大学づくり

⑨四国西南地域の発展ポテンシャルを高めるための基盤

- ・高速道路8の字ネットワークの整備
- ・港湾の機能強化、利活用の推進
- ・西南地域の資源を生かした産業活性化・交流人口拡大への取り組み

7. 少子化対策

- ・子供を生み育てやすい環境整備等、少子化の改善に向けた調査・提言

8. 四国圏広域地方計画の具体化

- ・計画（平成21年8月策定）に織り込まれた広域プロジェクトの実現に向けたフォローアップ等の取り組み

9. 「四国学」の推進

- ・ 四国の8大学が連携した遠隔教育システム「e-Knowledge コンソーシアム四国」（平成20年10月設立）における「四国学」講座への協力
- ・ 「四国学」の構築に向けた大学との連携
- ・ 四国総合ホームページ「ウェルカム！四国」による四国の魅力情報の発信

10. 四国域外組織等との交流活動

- ・ 日本経団連との経済懇談会の開催
- ・ 西日本経済協議会、中四国サミットへの参画など近接ブロック圏域との連携
- ・ 全国で活躍する四国出身経営者との意見交換会の開催

11. 景気動向等に関する調査

- ・ 「四経連景気動向調査」（4半期毎）の実施
- ・ 「景気ウォッチャー調査」（毎月）など受託調査の実施

12. 会員への情報提供および会員相互の交流

- ・ 会員ニーズの適切な把握による諸活動の実施
- ・ タイムリーな講演会、視察会等の実施
- ・ 理事懇話会（高松市）、四経連懇話会（高松市以外）、四国新年交流会等の交流行事の実施
- ・ 四経連会報による情報提供（毎月発行）
- ・ 四経連ホームページの充実 など

委員会・特別委員会

上記事業活動を実施するため、6つの委員会と3つの特別委員会を置く。

〔 委 員 会 〕

- ・ 国 際 化
- ・ 産 業
- ・ 観 光
- ・ 情 報 化
- ・ 資 源 ・ 環 境
- ・ 国 土 政 策

〔 特別委員会 〕

- ・ 四国西南開発
- ・ 社会構造問題
- ・ 地 方 分 権

以 上